杉並区立 杉森中学校
学校だより 第３３８号
平成２５年１１月２９日
平成２５年度　第７号

「　紅葉狩りに寄せて 」

副校長　田邊　克宣

先ごろ日本の研究機関がイチゴの遺伝子の全容を解明したと報道されました。数億単位のデータを処理し、世界に先駆けての快挙です。イチゴといえば春を代表する果物（学問上は違うようですが）で、門外漢としては安全な食のための技術革新を願うばかりです。

さて、冬至を前に、校庭に吹く風も日増しに冷たさを増しています。遊歩道沿いの木々の葉はそれぞれに趣があって美しいものですが、紅葉狩りもそろそろ見納めの頃です。

そういえば、サクラもホタルも“狩り”と言います。イチゴもスモモもモモもキノコも、トラもクマもキツネもタカも、そうです。

英語では、目で見るものはｖｉｅｗｉｎｇ、収穫するものはｇａｔｈｅｒｉｎｇ、収獲の場合はｈｕｎｔｉｎｇ、鷹は主客が転じてｆａｌｃｏｎｒｙ他と使い分けているようで日欧の比較をすると、また興味深いものです。

閑話休題。季節は晩秋、「秋深き隣は何をする人ぞ」。静かに深まる秋の日に、芭蕉は一人、何を思っていたのだろう。

「 天高く、馬肥ゆる秋 」。この言葉にも隠された意味があるようですが、それはさておき、魚に茸に木の実に果物と、滋養をたっぷり含んだ旬の食材が目も舌も楽しませてくれる季節。爽やかな空気を透かして見れば、西の彼方に奥多摩の山々がくっきりと稜線を描いています。近い所では八国山、少し足を延ばして三頭山の辺りまで行けば、錦のごとく目に沁みる紅葉の彩りが心に満ちてきます自然と思い出すのは、小学生の頃によく歌った「 紅葉 」。久しぶりに口ずさんでみると、途中の一節がどうしても思い出せない。楓や蔦ははたして山を彩るのか、はたまた里なのか。小学校時代の歌集を押し入れの奥から探し出しました。

正解は、“まつをいろどる”。

松の緑の間に間に色づく紅や黄や橙の色味の美しさ。東山魁夷が描いた画面一杯の紅葉も綺麗だけれど、常緑樹の中にところどころ色を添える様子もまた、日本の原風景の一つなのでしょう。道理で、山道を歩いていると、杉の木立の中から赤や黄色の葉っぱが見え隠れしていたわけです。

常緑樹と落葉樹。山にはさまざまな種類の樹木が共生しています。あるものは勢いよく、またあるものは控えめに。それぞれが生を全うしようと、狭い空間の中で、異種同士が枝を絡ませ合って、共に盛んなものもあれば、中には一方だけ立ち枯れてしまったものもあり、いきおい自然の豊かさと厳しさを感じさせられます。

ともあれ実りの秋。子供たちにはたくさんの栄養を蓄えてもらいたい。身も心も豊かになってほしい。誰もがより高く、伸びやかに育ってほしい。

そのために、人と関わり、競い合い、譲り合い、時には喧嘩をしながらも、互いを認め、尊重し合う、そんな人になってほしい。秋の野山を豊かに彩る、一本ずつの木々のように。

～ 11月のアルバム ～

【 中学校連合作品展 】
１１/６（水）～１０(日)
美術・家庭科で６５名の７７作品を出品しました。

【中学校連合文化祭　英語部発表】
１１／２(土)
ＥＳＳの学習成果を英語劇で発表しました。

【 １年 食育 】１１／８(金)・１５（金)
本校では就寝が遅く昼間眠い生徒が４９%。食と健康について管理栄養士山脇奈見子様のお話を伺いました。

【 ３校合同研修会 】１１／２０(水)
３回目の今回は、杉一小の授業参観の後、杉一小・馬橋小・杉森中の教員で、小中の連携について協議しました。

がんばりました！！おめでとう！！

バスケットボール部

☆ 杉並区中学校総合体育大会 ☆

バスケットボール新人大会　男子の部　第１位

卓球部

☆ 杉並区中学校新人卓球大会 ☆

- **女子団体　第１位　＜都大会出場権＞**
- **女子シングルス　第２位　Ｋ・Ｈ　さん**
  第３位　Ｓ・Ｔ　さん
  Ｍ・Ａ　さん

- **男子団体　第３位　＜都大会出場権＞**
- **男子シングルス　第５位　Ｋ・Ｒ　君**

【 １２月の予定 】

２（月）三者面談（始）
６（金）三者面談（終）
８（日）区駅伝大会
２０（金）２年移動教室保護者説明会
２１（土）教育シンポジウム＜セシオン杉並＞
２３（月）天皇誕生日
２５（水）終業式

※ 平成２６年 １月 ８日（水） 始業式